



## 2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社INGS 上場取引所 東  
コード番号 245A URL <http://ingsinc.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 青柳 誠希  
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長（氏名） 鈴木 建（TEL）03(6205)5039  
半期報告書提出予定日 2026年4月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	4,447	22.5	254	52.3	244	78.4	159	125.6
2025年8月期中間期	3,630	—	166	—	136	—	70	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	63.30	61.88
2025年8月期中間期	29.13	28.41

（注）1. 当社は、2024年8月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2025年8月期中間期の対前年中間期増減率については記載していません。

2. 当社は、2024年9月26日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、新規上場日から2025年8月期中間期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### （2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2026年8月期中間期	4,857	—	2,121	—	43.7
2025年8月期	4,563	—	1,960	—	43.0

（参考）自己資本 2026年8月期中間期 2,121百万円 2025年8月期 1,960百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,590	24.0	596	21.4	565	25.7	339	24.8	135.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	2,521,360株	2025年8月期	2,517,900株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	－株	2025年8月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	2,519,154株	2025年8月期中間期	2,427,063株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(中間損益計算書関係)	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2025年9月1日から2026年2月28日まで)におけるわが国経済は、物価上昇の影響を受けつつも、雇用・所得環境の改善等を背景に底堅く推移しております。また、中国からの訪日客の伸びは減少しているものの、海外からの訪日客は増加している中で、引き続きインバウンド需要も寄与している状況となっております。一方、地政学リスクや、原材料価格の高騰などもあり、景気の動向は依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する外食業界におきましては、価格改定等も踏まえた客単価や客数の水準は引き続き堅調に推移する一方で、上述の原材料価格の上昇や労働力不足に伴う人件費の上昇等、引き続き厳しい経済環境が継続している状況となっております。このような状況の下、当社は、メニューの変更や、価格の見直し、店舗運営におけるオペレーションの見直し等を行いながら、対応を図っております。

## (ラーメン事業)

当中間会計期間のラーメン事業におきましては、直営店では、「らぁ麺 はやし田」上野御徒町店、「日本油党」新橋支部及び「元祖焼豚センター うる寅商店」横浜店の3店舗をオープンしており、合計42店舗となりました。「元祖焼豚センター うる寅商店」については、既存店にて業態変更を行い、新ブランドとしての出店となっております。

その他、引き続き、デリバリーにおいては複数社の活用をする中で、各種キャンペーン等の施策を通じ、売上高の上乗せを図っております。そのような中で、既存店売上高は前年同期比で102.1%の結果となりました。

加盟店では、新規で青森県、山形県、大阪府に計3店舗オープンしており、3店舗の閉店も踏まえ、合計73店舗となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は2,423,199千円(前年同期比27.2%増)、セグメント利益は212,822千円(前年同期比45.4%増)となりました。

## (レストラン事業)

当中間会計期間のレストラン事業におきましては、直営店では、「CONA」合計22店舗、その他業態合計3店舗については増減なく、「焼売のジョー」については、業態変更を行う関係で1店舗の閉店をしており、合計11店舗、事業全体として36店舗となりました。

加盟店では「CONA」は出店及び退店がそれぞれ1店舗ずつあり、合計27店舗、「焼売のジョー」は合計4店舗となっております。

その他取組みでは、「CONA」の一部店舗にてお子様向けにピザ作り体験の機会を提供し、ファミリーの集客を図る等の施策を行っております。そのような中で、既存店売上高では、前年同期比で101.8%の結果となりました。

なお、2018年10月における株式会社キャンディーBOX全株式の取得、2021年8月の同社吸収合併に伴い、当社の販売費及び一般管理費としてのれん償却費及び無形資産償却費54,240千円を計上しております。この結果、レストラン事業の売上高は2,024,068千円(前年同期比17.3%増)、セグメント利益は41,363千円(前年同期比101.5%増)となりました。

## (全社)

上記の結果、当中間会計期間の業績は、売上高4,447,268千円(前年同期比22.5%増)、営業利益254,186千円(前年同期比52.3%増)、経常利益244,117千円(前年同期比78.4%増)、中間純利益159,458千円(前年同期比125.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における総資産は、現金及び預金が114,179千円増加、新規出店に伴い有形固定資産が167,348千円増加、敷金及び保証金が19,986千円増加したことなどにより、4,857,255千円（前事業年度末比293,637千円の増加）となりました。

(負債)

当中間会計期間末における負債は、1年内返済予定の長期借入金が27,376千円、社債が80,000千円、長期借入金が38,846千円増加したものの、1年内償還予定の社債が5,000千円、未払法人税等が7,235千円減少したことなどにより、2,735,421千円（前事業年度末比132,217千円の増加）となりました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は、中間純利益159,458千円を計上したことにより、2,121,834千円（前事業年度末比161,420千円の増加）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べて114,179千円増加し1,693,754千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは280,713千円の収入となりました（前年同期は102,442千円の収入）。

主な増加要因は、税引前中間純利益251,820千円、減価償却費97,136千円、のれん償却額46,594千円などであり、主な減少要因は、法人税等の支払額90,649千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは306,750千円の支出となりました（前年同期は424,244千円の支出）。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出276,857千円、敷金及び保証金の差入による支出26,661千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは140,216千円の収入となりました（前年同期は609,124千円の収入）。

主な増加要因は、長期借入れによる収入300,000千円、社債の発行による収入98,470千円などであり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出233,777千円、社債の償還による支出25,000千円などであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、2025年10月15日に公表いたしました数値に変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当中間会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,579,575	1,693,754
売掛金	164,809	180,614
原材料及び貯蔵品	24,948	31,083
その他	195,448	229,349
流動資産合計	1,964,781	2,134,802
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,357,412	1,554,000
その他（純額）	156,569	127,330
有形固定資産合計	1,513,981	1,681,330
無形固定資産		
のれん	297,627	251,033
その他	72,727	63,636
無形固定資産合計	370,355	314,669
投資その他の資産		
破産更生債権等	926	926
敷金及び保証金	515,326	535,312
その他	198,632	189,635
貸倒引当金	△926	△926
投資その他の資産合計	713,958	724,948
固定資産合計	2,598,295	2,720,948
繰延資産	540	1,504
資産合計	4,563,617	4,857,255
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	257,627	258,612
1年内償還予定の社債	25,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	455,880	483,256
未払法人税等	90,400	83,165
資産除去債務	2,062	-
賞与引当金	55,900	57,878
その他	427,960	414,547
流動負債合計	1,314,832	1,317,459
固定負債		
社債	-	80,000
長期借入金	1,055,823	1,094,670
資産除去債務	166,533	180,853
その他	66,013	62,437
固定負債合計	1,288,371	1,417,961
負債合計	2,603,203	2,735,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,530	12,511
資本剰余金	916,240	917,221
利益剰余金	1,032,642	1,192,100
株主資本合計	1,960,414	2,121,834

純資産合計	1,960,414	2,121,834
負債純資産合計	4,563,617	4,857,255

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	3,630,436	4,447,268
売上原価	1,215,449	1,459,272
売上総利益	2,414,987	2,987,996
販売費及び一般管理費	※1 2,248,128	※1 2,733,809
営業利益	166,858	254,186
営業外収益		
受取利息	735	1,623
受取手数料	711	600
助成金収入	400	1,200
その他	139	638
営業外収益合計	1,986	4,062
営業外費用		
支払利息	12,214	12,024
社債発行費償却	1,958	566
株式交付費	8,155	-
上場関連費用	9,185	-
その他	516	1,540
営業外費用合計	32,030	14,131
経常利益	136,814	244,117
特別利益		
固定資産売却益	-	※2 7,300
資産除去債務戻入益	-	※3 2,072
受取保険金	※4 4,519	※4 5,151
特別利益合計	4,519	14,523
特別損失		
損害賠償金	-	※5 6,820
固定資産除却損	※6 5,287	-
火災損失	※7 10,902	-
特別損失合計	16,190	6,820
税引前中間純利益	125,143	251,820
法人税、住民税及び事業税	48,476	83,414
法人税等調整額	5,977	8,947
法人税等合計	54,453	92,362
中間純利益	70,689	159,458

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	125,143	251,820
減価償却費	73,928	97,136
長期前払費用償却額	12,035	16,644
社債発行費償却	1,958	566
のれん償却額	45,872	46,594
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,008	1,977
受取利息	△735	△1,623
助成金収入	△400	△1,200
支払利息	12,214	12,024
上場関連費用	9,185	-
株式交付費	8,155	-
受取保険金	△4,519	△5,151
資産除去債務戻入益	-	△2,072
固定資産売却損益 (△は益)	-	△7,300
固定資産除却損	5,287	-
火災損失	10,902	-
損害賠償金	-	6,820
売上債権の増減額 (△は増加)	5,682	△15,805
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,737	△6,135
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,666	984
未払金の増減額 (△は減少)	12,044	△1,626
その他の資産の増減額 (△は増加)	△30,918	△34,115
その他の負債の増減額 (△は減少)	△81,748	22,302
その他	850	390
小計	207,544	382,233
利息及び配当金の受取額	735	1,623
利息の支払額	△12,184	△12,024
保険金の受取額	-	5,151
助成金の受取額	400	1,200
火災損失の支払額	△3,000	-
損害賠償金の支払額	-	△6,820
法人税等の支払額	△91,052	△90,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,442	280,713
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△302,879	△276,857
有形固定資産の売却による収入	-	7,300
事業譲受による支出	△55,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△41,624	△26,661
敷金及び保証金の回収による収入	-	5,850
その他	△24,740	△16,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424,244	△306,750

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△228,806	△233,777
社債の発行による収入	-	98,470
社債の償還による支出	△58,000	△25,000
株式の発行による収入	906,554	1,961
上場関連費用の支出	△9,185	-
その他	△1,438	△1,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	609,124	140,216
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	287,322	114,179
現金及び現金同等物の期首残高	1,005,752	1,579,575
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,293,074	1,693,754

## (4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
給与及び手当	848,701千円	1,096,293千円
賞与引当金繰入額	64,441千円	70,842千円

※2 固定資産売却益

前中間会計期間(自 2024年9月1日至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当中間会計期間(自 2025年9月1日至 2026年2月28日)

「焼売のジョー」町田はなれ店における店舗設備の売却によるものであります。

※3 資産除去債務戻入益

前中間会計期間(自 2024年9月1日至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当中間会計期間(自 2025年9月1日至 2026年2月28日)

「焼売のジョー」町田はなれ店の閉店に伴い、資産除去債務の履行額が見積額を下回ったことによるものであります。

※4 受取保険金

前中間会計期間(自 2024年9月1日至 2025年2月28日)

「焼売のジョー」立川店にて火災が発生したことに伴う復旧費用等につき、確定した保険金の一部を受領したものであります。なお、未確定の保険金については金額が確定次第計上を予定しております。

当中間会計期間(自 2025年9月1日至 2026年2月28日)

「CONA」立川店及び「焼売のジョー」川崎店において発生した漏水事故に伴う、近隣店舗への損害賠償金に関連した保険金の一部を受領したものであります。なお、未確定の保険金については金額が確定次第計上を予定しております。

※5 損害賠償金

前中間会計期間(自 2024年9月1日至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当中間会計期間(自 2025年9月1日至 2026年2月28日)

「CONA」立川店及び「焼売のジョー」川崎店において発生した漏水事故に伴う、近隣店舗への損害賠償額の一部を計上しております。なお、当社運営店舗の運営に伴う賠償リスクに対しては、包括的に損害賠償責任保険が付保されており、今後も発生した損害については保険金による回収を予定しております。

※6 固定資産除却損

前中間会計期間(自 2024年9月1日至 2025年2月28日)

「らぁ麺 はやし田」新宿店における店舗改装(リニューアルオープン)に伴うものであります。

当中間会計期間(自 2025年9月1日至 2026年2月28日)

該当事項はありません。

※7 火災損失

前中間会計期間(自 2024年9月1日至 2025年2月28日)

「焼売のジョー」立川店にて火災が発生したことに伴う復旧費用等につき、10,902千円を損失として計上しております。なお、「焼売のジョー」立川店含む、当社運営店舗に係る資産には全て火災保険が付保されております。

当中間会計期間(自 2025年9月1日至 2026年2月28日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間損益 計算書計上額 (注) 1
	ラーメン 事業	レストラン 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,905,429	1,725,007	3,630,436	—	3,630,436
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,905,429	1,725,007	3,630,436	—	3,630,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,905,429	1,725,007	3,630,436	—	3,630,436
セグメント利益	146,333	20,525	166,858	—	166,858

(注) 1. セグメント利益の合計額は中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により、各報告セグメントへ配賦しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間会計期間(自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間損益 計算書計上額 (注) 1
	ラーメン 事業	レストラン 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,423,199	2,024,068	4,447,268	—	4,447,268
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,423,199	2,024,068	4,447,268	—	4,447,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,423,199	2,024,068	4,447,268	—	4,447,268
セグメント利益	212,822	41,363	254,186	—	254,186

(注) 1. セグメント利益の合計額は中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により、各報告セグメントへ配賦しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。